

## ● 試験区分と定員

試験区分	定員
<b>一般選抜</b> 幅広く勉強して偏りのない素養を身につけ、十分な基礎学力を修得した学生を選抜します。	25名
<b>(1) 前期日程</b> 前期日程では大学入学共通テスト（5教科7科目）と個別学力検査（2教科2科目）および調査書等により、科学的的方法論に基づく観光科学を学ぶ理系分野の基礎学力を有し、本学科が求める学生像に合致した人を選抜します。	18名
<b>(2) 後期日程</b> 後期日程では大学入学共通テスト（5教科6科目）と個別学力検査（小論文のみ）および調査書等により、論理的思考的に優れ、本学科が求める学生像に合致した人を選抜します。数学・理科を履修した文系学生も受験しやすい入試です。	7名
<b>多様な選抜</b> 下記の多様な選抜試験によって、十分な基礎学力を有し、かつ、本学科が求める学生像に合致した多様な能力を有する人を選抜します。	5名
<b>(1) 一般推薦入試</b> 本学科が求める人材像と合致し、高等学校段階までに習得すべき学力・能力を備えた生徒であることを学校長が推薦する人を対象とした選抜です。調査書、推薦書、志望理由書による一次選考と、小論文と面接（口頭試問を含む）による二次選考によって選抜します。	3名
<b>(2) グローバル人材育成入試</b> 観光科学科を履修しながら、海外留学が必須の「国際副専攻」カリキュラム科目も履修することによって、本学部で学んだ専門的知識を武器に、国際社会で活躍するグローバルリーダーを目指す人のための入試です。外部英語検定試験で所定のスコアを有し、かつ高等学校等で成績優秀な者を対象に、調査書および志望理由書による一次選考と、小論文と面接（口頭試問を含む）による二次選考によって選抜します。	2名
<b>特別選抜</b> 国外からの学生（定められた教育を外国で受けた方）を受け入れる選抜を行います。	若干名
<b>(1) 帰国子女（中国引揚者等女子含む）入試</b> <b>(2) 私費外国人留学生入試</b> ※各入試の詳細はホームページをご確認ください。	各若干名

## ● 試験科目（一般選抜）

日程	大学入学共通テスト		個別学力検査		その他
	教科	科目名など	教科	科目名など	必要書類
前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B 物、化、生、地学 から1※ 英	地歴 理 数	地理B 物基・物、化基・化、 生基・生、地学基・地学 数Ⅰ・数A・数Ⅱ・数B・数Ⅲ から1	調査書
		※地歴・公民の第1解答科目を採用する			
					<b>5教科7科目</b>
					<b>2教科2科目</b>
後期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B 物、化、生、地学 から1※1 英	その他	小論文	調査書
		※1 地歴・公民の第1解答科目を採用する ※2 理は第1解答科目を採用する			
					<b>5教科6科目</b>
					<b>1科目</b>

※配点や一般選抜以外の入試情報については、別途お問い合わせください。

文系だけじゃない

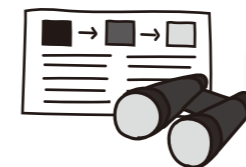
# 理系が主役の 観光科学

「観光を科学する」東京都立大学の観光科学科は、  
こんなキミにオススメです！



自然環境や歴史、文化、芸術、産業などの  
地域資源の保全・活用や観光地経営を学びたい！

もの・人との共生や交流を通して、  
地域や人に夢や活力を与える観光を学びたい！



観光の調査から計画・実践までの技術を  
身につけ、社会に貢献したい！

もっと観光科学科をチェック！

☑ 観光科学科ホームページ  
観光科学科の全てがわかる！  
<http://www.comp.tmu.ac.jp/tourism/>



☑ Facebook  
最新情報をつねに発信！  
@TMUTourism



観光科学科に関するお問い合わせ  
都市環境学部 観光科学科  
〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1  
TEL: 042-677-1111 (代表)  
MAIL: kyomu@tmu.ac.jp

☑ ツーリズムマガジン  
学生目線で観光科学科をレポート！  
<http://www.comp.tmu.ac.jp/tourism/publish/magazine.html>



☑ アニュアルレポート  
専門的に知りたい人はぜひ！  
<http://www.comp.tmu.ac.jp/tourism/publish/study-annual.html>



理系が主役

観光科学科の魅力を紹介します▶

# 東京都立大学の 観光科学科とは？

## 観光科学科の魅力

### ① \日本で唯一！/ 理系出身の観光のスペシャリストを目指す！

今まで観光学というと、旅行プランの作成やホテル経営をはじめとする旅行業のノウハウなど、文系分野が中心でした。しかし、環境資源に限られる日本の観光地域が今後発展していくためには、地域資源の保全に必要な生態学・地理学や、インフラ整備に必要な交通計画・都市計画、さらに観光行動を読み解くための情報科学・心理学といった理系の視点が欠かせません。東京都立大学の観光科学科で学ぶ「観光科学」は、観光にまつわるあらゆる事象を科学的な視点で解き明かす新しい学問なの

です。そして観光科学科の使命は、観光科学を通じて観光地域の発展に寄与できる観光分野のスペシャリストを育成することです。また現象解明から計画立案、観光振興の実績活動を担う技術者、コンサルタント、レンジャーなどの専門家、観光の総合的なマネジメントを行う実務的ジェネラリストを育てます。



### ② \複数の分野を横断！/ 多様な視点で物事を捉える力が身につく！

観光科学科では、それぞれ異なる専門分野の教員が「自然環境マネジメント領域」、「地域計画・マネジメント領域」、「行動・経営科学領域」の3つの領域に別れつつ、互いに連携しながら

研究・教育を行います。様々な学問分野にまたがる観光科学を総合的に学ぶことで、多様な視点から観光を取り巻く複雑な事象を読み解く力が身につきます。

#### 自然環境マネジメント領域

自然環境を利用する観光における人・生物・物理環境を対象に、農林水産業、地域参画、環境教育・保全に関する活動における、生態系の保全と開発のバランスの最適解を見出し、持続的な自然環境の利用・管理に貢献する。

【主な授業】 地域環境学、生物資源学、生態環境学 など



#### 地域計画・マネジメント領域

都市や集落地域の空間や建造物と、そこで生まれる文化を活用する観光や、観光を通して地域環境の改善や魅力向上のための実践的な計画・実現手法を探究する。

【主な授業】 国土・インフラ計画と観光、観光まちづくり論、観光地域史 など



#### 行動・経営科学領域

観光者、観光関連企業・組織など、観光に関わる様々なアクターの心理や行動を科学的に研究し、観光者のニーズに合ったサービスと情報を提供するための方法を確立する。

【主な授業】 旅行者行動の心理学、観光マーケティング科学、観光地理情報学 など



### ③ \実際の現場を体感！/ 多彩な演習・フィールドワークで 実践的に学ぶ！

複雑に絡み合う社会や地域の諸事情が反映される観光についてより深く学ぶためには、現場を見たり、関わりを持つ中で得られる行きた経験が不可欠です。本学科では、講義だけでなく、演習やフィールドワークの機会を豊富に用意。現場に赴き、具体的な課題を徹底的に実習することで論理的な思考と課題発見・解決手法の修得を目指します。



## 研究プロジェクト PICK UP

### 野生生物バーチャルハンティング

自然環境マネジメント領域 沼田 真也 教授 / 高木 悦郎 助教

東南アジアの熱帯雨林には多くの希少な野生生物が生息していますが、人気のある野生生物の多くは低密度、夜行性で、観察することは大変です。私たちは熱帯雨林の野生生物の生存を脅かすことなく、魅力的で安全な観光資源として活用するため、センサービデオカメラを活用した観光プログラム（野生生物バーチャルハンティング）の開発を行っています。



### 町工場一斉公開イベント「おおたオープンファクトリー」

地域計画・マネジメント領域 川原 晋 教授 / 岡村 祐 准教授

3,000以上の工場が集積する東京都大田区を対象に、期間限定で町工場を一斉公開する「おおたオープンファクトリー」を大田観光協会および横浜国立大学と共に主催しています。学生はその企画・運営の中核を担います。同地域では他にも、多様な地域活動の拠点として旧工場をリノベーションした「くりらぼ多摩川」を運営し、モノづくり、まちづくり、観光を一緒に考える活動を展開中です。

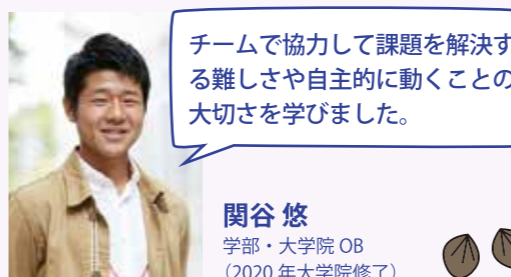
### CT-Planner で、あなただけの旅のプランを！

行動・経営科学領域 倉田 陽平 准教授

旅のプランづくりはワクワクする作業ですが、交通手段や営業日時を調べる手間も必要です。そこで私たちは PC やスマホから気軽に旅のプランづくりができる Web サイトを開発しました。地図を見ながら、興味を持ったものはどんどんリクエスト。そのたびにプランはあなた好みに進化していきます。東京・京都をはじめ全国 60 地域以上に対応、英中韓国語でもサービスを展開しています。



## 卒業生の声



チームで協力して課題を解決する難しさや自主的に動くことの大切さを学びました。

関谷 悠  
学部・大学院 OB  
(2020 年大学院修了)

身近な問題を解決するための具体的な施策について、チームで考える「PBL(Project Based Learning)」では、自分と異なる専門知識を持つ仲間と話し合うことで、多くの実践的な学びを得ることができました。将来は少子高齢化や地方の過疎化、都市への人口集中等、社会問題を抱える中でも、多くの人々がより快適に暮らせる環境を、観光を通して考えていきたいです。

## 卒業後の進路

### 卒業後は、 観光業とその周辺業界で幅広く活躍！

卒業後の進路としては、旅行会社やリゾート開発会社などの旅行業界のほか、観光行動を支える運輸業や、観光業界や都市を分析するコンサルタント、観光地側の振興を支援する行政や金融など多岐に渡っています。また、多くの学生が大学院へ進学しています。

■ 2010-2019 年度の進路状況 (※就職先・進学先は順不同)

